

## 空き家対策ナビゲーター養成講座の概要

- ・空き家対策を担う市民を養成する講座を市が NPO 兵庫空き家相談センターと連携して実施。国土交通省「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」
- ・平成 30 年度 46 名、令和 2 年度 22 名が修了した。
- ・講師は、NPO に所属する弁護士、司法書士、宅建士、建築士、土地家屋調査士、税理士、行政書士、遺品整理士など
- ・ニュータウンの歴史、空き家の法律問題、空き家の適正管理、危険家屋の注意点、生前整理と遺品整理、建築知識、空き家の税金問題、相続対応時のコンプライアンス
- ・令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の外出自粛のため、受講生が動画を視聴する方式を採用した。



空き家対策ナビゲーター養成講座

## 空き家対策ナビゲーターの活動の様子

- ・空き家対策は、住民の経験や知識が不足しているのが現状。空き家対策の知識が地域の中で広がっていくことが求められている。「学ぶ」、「実践する」、「教える」という循環を展開させていく
- ・空き家対策ナビゲーターは、主に自らが暮らす地域で活動。地域の自治会と連携して、空き家対策の活動を実践している。
- ・令和 2 年度は、人口 1 万人以上の 3 つのニュータウンで活動。空き家対策セミナー (3 回) や、気軽な空き家相談会 (4 回) を開催したほか、3 団地の空き家の実態調査を実施した。
- ・令和 3 年度は、地域の自治会と連携して、空き家調査を行う。地域の空き家を掘り起こし、空き家マッチング制度を活用して、空き家の流通を促す。



募集チラシ



気軽な空き家相談会(茶話会形式)



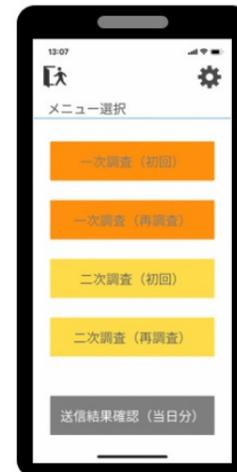
定例の活動(毎月)



空き家調査(ニュータウン)

## 空き家調査アプリの概要

- ・市民がスマートフォンのアプリを使って、容易に空き家調査できるシステム。調査結果は、現場から直接「データベース(kintone)」へ送信されるため、データ更新を瞬時に行うことができる。余分なプロセスが不要なため効率的。
- ・市と地域が空き家を情報共有することで、空き家への問題意識を高め、地域と連携して空き家対策を進めるツールとして活用する。
- ・アプリは誰でも容易に操作可能。アプリと連動させて、効果的なデータベースが構築できるとの判断から、本格稼働を決めた。(令和 3 年度 6 月議会で予算化)
- ・この空き家調査アプリを活用すれば、全国で行われている空き家調査を今よりも効率化し、市民参加への期待も高まる。



メニュー画面



調査結果選択画面



写真撮影



位置情報登録

### (参考)

- ・令和 2 年 12 月～令和 3 年 3 月、官民連携で実証実験を実施。  
(取組名) Urban Innovation KAWANISHI  
(協働企業) ユニフィニティー(東京の IT 企業)  
(実験協力) 空き家対策ナビゲーター、NPO 法人兵庫空き家相談センター

令和 3 年 3 月 16 日(火)の現地調査の様子は NHKTV(神戸放送局)で放映された。

